

おすすめの宿根草(ふろーらむで見ることができます)

ふろーらむでは、宿根草(シーズンを越す時に地上部を枯らして次の年まで残る草花)を使うことで、毎年全ての花を植え変える必要のないローメンテナンス・ローコストなナチュラルガーデンのデザインを推奨しています。ぜひ園内で咲く花を見て花壇作りの参考にしてみてください。

アガパンサス



梅雨に長く伸びて紫や白の花が咲きます。背が高いため花壇の奥側に配置しましょう。

ホスタ(ギボウシ)



葉の形や大きさ、斑の有無など、様々な品種が選べます。夏に白い小さな花が咲きます。

ルドベキア



小さい向日葵のような形と色が特徴。花壇では他の花の引き立て役として活躍します。

宿根草は栽培計画図が鍵!

宿根草を花壇に用いた際によく起こる問題は、冬に地上部が枯れてしまい、何が植えられているか分からなくなってしまうことです。下記のHPに栽培計画図が載っているのでダウンロードし、デザインの計画を記録しましょう。

ふろーらむにて、宿根草を用いて地域の花壇の植栽を行った事例です。デザイン図の例も載っています。→



エキナセア



イングリッシュガーデンの王道の宿根草です。様々な大きさや色の品種があります。

ケイトウ(鶏頭)



宿根草ではないですが、暑さに強く、こぼれ種で翌年も花が咲くことがあります。

ツワブキ



宿根草なのに冬でも地上部の葉が枯れないため、宿根草が初めての方におすすめ。

冬のガーデンの彩り

ナチュラルガーデンでは、冬の姿は「あるがまま」となります。「それでは余りに彩りが足りない」という方は、冬の宿根草「クリスマスローズ」、球根を夏〜秋に植える「水仙」、新葉が白い「初雪カズラ」、その他宿根で大きくなるリーフ「白妙菊」等で春までの彩りを保ちましょう。



水仙とクリスマスローズ

白妙菊

開花時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
花の名前	(助成金申請)	アガパンサス	ルドベキア・ホスタ・ケイトウ・エキナセア	ツワブキ				(冬へ)